

Special Articles

【臨床】

Interview

慢性蕁麻疹の病態とIgE

本田哲也

HONDA, Tetsuya

浜松医科大学皮膚科学講座教授

Introduction

蕁麻疹は皮膚疾患における代表的な common disease であり、患者数も多いが、病態や成因に未解明な部分が多く、臨床経過にも症例による違いがみられることが少なくない。とくに慢性蕁麻疹では、以前から IgE や高親和性 IgE 受容体 (FcεRI) に対する自己抗体の関与が指摘されてきたが、それだけでは病態の全体像を把握できないとされている。そうしたなか、2017年に既存治療で効果不十分な特発性の慢性蕁麻疹に対し、抗 IgE 抗体療法が保険適用され、IgE があらためて慢性蕁麻疹の病態解明の鍵として注目を集めている。本項では、慢性蕁麻疹の病態と IgE の関係について、臨床的な側面を中心に本田哲也先生にお話をうかがった。

Key words

- ・ IgE
- ・ 慢性蕁麻疹
- ・ 高親和性 IgE 受容体 (FcεRI)
- ・ 抗 IgE 抗体療法
- ・ 自己免疫疾患